

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



“住民と医療・介護専門職のつながりづくり”にも取り組んでいます

地域における支え合い活動を推進していくために、住民の皆さんと医療・介護専門職とのつながりづくりにも取り組んでいます。

居場所活動のお手伝い

福祉推進委員さんから「コロナ禍で外出自粛となり、サロンも1年ほど中止しました。身体を動かす機会が少なくなったので、屋外で感染対策をしながら体操ができればと考えていますが、講師を誰にお願いしたらいいか悩んでいます」と相談を受けました。

町内会近くの医療・介護事業所にご相談したところ、「地域密着の事業所でありたいと思っています。自分たちのできることは協力します！」と回答がありました。

事前打ち合わせも複数回行い、当日は理学療法士さんと看護師さんが、体操の指導や参加者の体の状態もチェックしてくださいました。

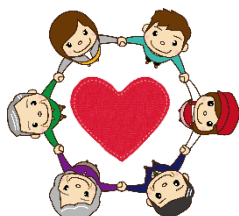
「専門職の方から直接指導やアドバイスをもらえるので、初参加の方も多かった」と福祉推進委員さん。

専門職の参加が、住民参加の後押しになったようです。



参加者の声

- 外の気持ちいい空気を吸いながら、体を動かすことができました。
- 体の痛い部分に気を付けて運動する方法を専門職の方に教えてもらいました。個別にアドバイスをもらい、嬉しかったです。
- 今までにない新しい活動だったので、約7年ぶりにサロンに参加してみました。参加して良かったです。



住民、事業所、各種団体などが連携・協働することで活動の幅も広がります。日頃地域で行われている活動でこのような機会が増えることを願っています。つながりづくりや連携を希望される方は、生活支援コーディネーターまでぜひご相談ください。



令和3年度前期 活動報告

令和3年4月～令和3年9月



生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。



「ふくしのまちづくりプロジェクト」

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。

地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。

コロナ禍のため活動がストップしている町内会もありますが、今回は感染拡大防止に配慮しながら活動を進めている町内会をご紹介します。

地域の実態にあわせて 解決策を考えてみよう



ふくしのまちづくりプロジェクト

年を重ねても、障がいがあっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい。そのためには自助・互助・公助が、それぞれの役割を果たすことが大切です。

社会福祉協議会では、地域の支え合い活動（互助）を広げる活動に取り組んでいます。

お住まいの町内会で実態調査を行い、得るに備えて、地域の特性や課題・ニーズに応じた支え合い活動を考えてみませんか？



※町内会を対象に実施しています。
※ふくしのまちづくりプロジェクトの流れや、実態調査後の活動例などは裏面をご覧ください。

【問い合わせ・申込先】 志免町社会福祉協議会
TEL : 092-937-3011 FAX : 092-936-9067
MAIL : shime@shime-shakyo.or.jp



この事業は、志免町社会福祉協議会が生活支援コーディネーター活動の一環として
志免町役場福祉課と協力しながら実施しています。

裏面もご覧ください

志免3町内会

志免3町内会では、日頃は民生委員さんと福祉推進委員さんを中心に見守り活動を行っています。

今回のアンケート結果から、多くの方に参画して

いただく形で、見守り体制の強化を図ることになりました。

見守り対象者や、どのような団体・人に協力をお願いするか等を話し合い、見守り対象者が多いエリアを把握し支援体制をどう整えるかを検討するために地図への落とし込みを行いました。

今後は、見守り活動者への協力依頼、活動エリア決め等を行う予定です。



お知らせ

見守り活動

はじめます☆

70歳以上のお一人暮らしの方を対象とします



プライバシー、個人情報を守ります。
安心してください。 志免三公民館

王子八幡町内会「王子サポート隊」

王子サポート隊は、王子八幡町内会にお住まいの方に対して日々の見守り活動とちょっとした生活上の困りごとに対応していくグループです。

今年度から活動を始め、電球交換、自宅周辺の草取りなどを行ったそうです。



依頼者の声

- いつ電球が切れるか分からない状態だったので、とても助かりました。
- ボランティアさんが知っている人だったので、安心してお願いできました。
- 「王子八幡町内会に住んでいて良かった！」と思いました。

活動者の声

- 活動後にお礼の電話をもらいました。「王子八幡町内会に住んで良かった！」との言葉を聞き、とても嬉しく思いました。これからの活動の励みになりました。
- ちょっとしたことでも困っている人はたくさんいると思うので、困りごとを頼みやすい雰囲気や関係づくりに努めていきたいです。

実際に活動してみて改善点も見えてきたため、今後、サポート隊メンバーと話し合い、活動を見直す予定にされています。つながりが広がることによって、みんなが住みやすい町内会をめざしていきたい、将来的にご近所同士の助け合いへ発展していければ…とのことでした。



買い物支援（宅配、インターネットショッピング等）を調査しました

「田富地区はスーパーが廃業となり、宇美町や須恵町まで買い物に行っている人もいます。困っている人も多いのではないかと…」と町内会長さんからお聞きし、志免町内のスーパーやコンビニ、ドラッグストアで配達やインターネットショッピングを行っているお店を調査しました。少数ですが、町内のお店で配達等の対応して下さるところもありました。

また、町内会長さんのお知り合いで買い物にお困りの方のために移動販売を行っている方の情報も教えていただきました。



移動販売



宅配



インターネットショッピング・
ネットスーパー

買い物支援の情報が必要な方は、生活支援コーディネーターまでお尋ねください。

♥ 「志免町の居場所事例集」の更新

町内会や団体、事業所などが行っている居場所活動を見える化するために作成している「志免町の居場所事例集」の内容を更新しました。

コロナ禍のため活動を見直し、新しい生活様式にあわせた活動を始めているところもあります。

事例集は地域の福祉活動に携わる方や医療・介護保険事業所などに配布したり、志免町役場福祉課や社会福祉協議会の窓口のほか、病院や銀行など住民の方が集まる場所にも置いていただいています。社会福祉協議会のホームページからもダウンロードできます。



♥ 「ちいさく集まって 人とつながる」

コロナ禍で大人数が集まる活動の多くが中止となっていますが、「ちいさく集まって 人とつながる」ことで三密を避けながら“交流”や“健康づくり”に取り組んでいる地域もあります。



【別府3町内会 体操サークル】

Youtubeの動画を見ながら、5名程度でリズム体操やストレッチを行っています。

ソーシャルディスタンスをとる、換気をする等の基本的な感染対策は行っています。

友人とウォーキングや買い物に出かける、サークル活動に参加する、LINEやZoom等のオンラインを活用しておしゃべりする等、意識してみると、私たちの生活の中には「ちいさく集まって 人とつながる」活動がたくさんあります。

町内会活動に加え、このような活動も孤立を防いで生活を豊かにする活動といえます。皆さんの周りにある「ちいさく集まって 人とつながる活動」をぜひ教えてください。



生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011